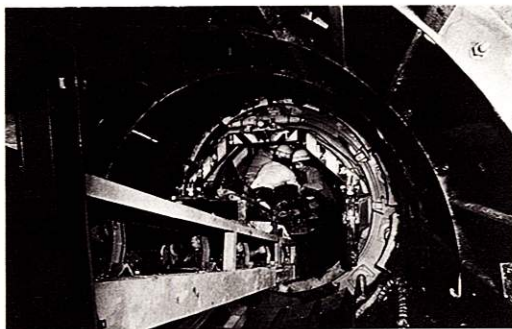


地下からの都市改造

日本の下水道は欧米諸国にくらべると立ち遅れ、その普及率は30%に満たないのが、現状です。

市の公共下水道は、雨水系は幹線がほぼ完成というところまでできていますが、汚水系は多摩川流域多摩川上流処理区関連として、昭和48年

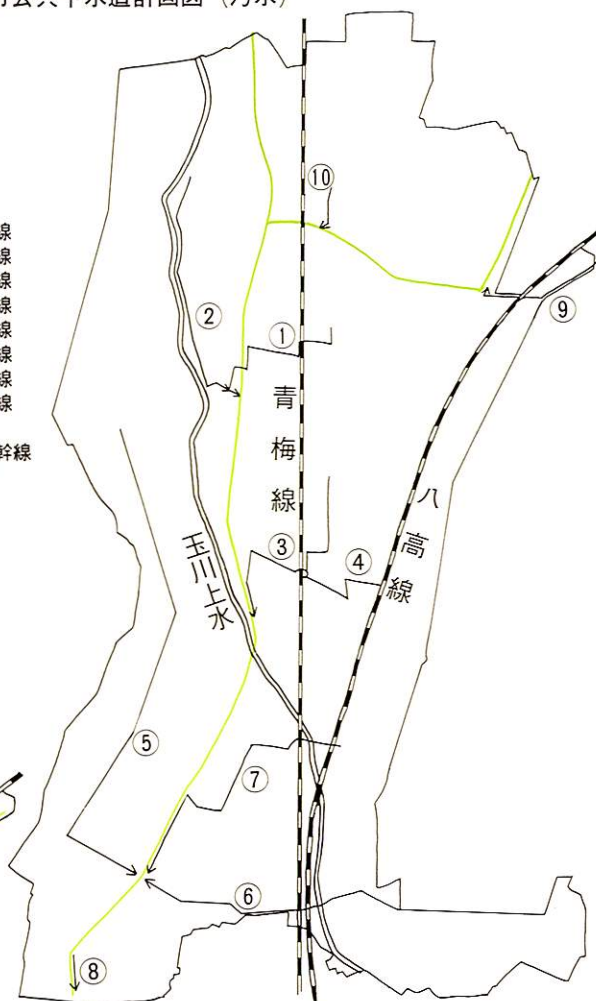


に事業認可をとり、翌49年から着手、精力的に整備を進めています。そして、昭和53年6月に124haの供用開始をはじめ、55年6月には256ha、38.5%の普及率となっています。

これが完備されると、悪臭やカ・ハエの発生や家庭、工場等から河川への汚水たれ流しがなくなり、公衆衛生および自然環境上、じつにクリーンなまちが実現されます。こうした健全な都市基盤づくりの一環として、全区域の早期完成に努めています。

福生市公共下水道計画図（汚水）

- No. 幹線名
- 1 中部1号幹線
 - 2 中部2号幹線
 - 3 南部1号幹線
 - 4 南部2号幹線
 - 5 南部3号幹線
 - 6 南部4号幹線
 - 7 南部5号幹線
 - 8 南部6号幹線
 - 9 北部幹線
 - 10 西武蔵野台幹線
- 流域下水道



福生市公共下水道計画図（雨水）

- No. 幹線名
- 1 中央1号幹線
 - 2 中央2号幹線
 - 3 中央3号幹線
 - 4 中央4号幹線
 - 5 中央5号幹線
 - 6 中央6号幹線
 - 7 中央7号幹線
 - 8 加美平1号幹線
 - 9 加美平2号幹線
 - 10 加美平3号幹線
 - 11 加美平4号幹線
 - 12 加美平5号幹線
 - 13 本町幹線
- 都市下水道
— 完成
- - 未完成